

Ref. 4

JP-A-58-44941U

The present device relates to an extendable column with a turntable, which is capable of turning a hanger or a shelf of small objects attachably and detachably by utilizing spaces in a corner or a wall side, etc. of each room such as a living room, a kitchen, and a bathroom, etc.

-- (Omitted) --

In the followings, as explaining the method of using the extendable column, the fixed column (2) and the extended column (3) are connected to a required height, respectively via the turntable (7), and then are strongly pressured and elongated to the ceiling by turning of the threaded extendable part (5), with pressing the suction pad (10) at the upper end against the ceiling, and with pressing the lower end against the floor, etc. At this moment, a spring adjusting extendable part (6) is pressed and fixed in a state where it is vertically stretched with always making it flexible. Further, a hunger (8) or a shelf (9) is latched to the rotatable turntable (7) so as to make the nose-suspension of the clothing, etc. and the fastening of the goods, etc.

D4

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—44941

⑤ Int. Cl.³

A 47 B 96/14

49/00

E 04 H 12/18

F 16 B 47/00

F 16 M 11/08

識別記号

庁内整理番号

7413—3B

7309—3B

7904—2E

7812—3J

6477—3G

④ 公開 昭和58年(1983)3月25日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑭ 回転台付伸縮支柱

川口市幸町1—5—22

⑯ 実 願 昭56—141141

⑰ 出 願 人 株式会社川口技研

⑱ 出 願 昭56(1981)9月22日

川口市幸町1—5—22

⑲ 代 理 人 弁理士 仙田実

⑳ 考 案 者 納口昭二

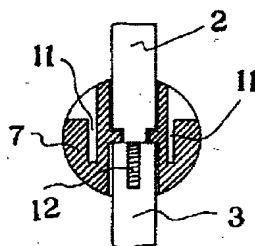
㉑ 実用新案登録請求の範囲

固定柱と伸縮自在の拡張柱と、上下の端部に吸着盤を装着した支杆とからなる回転台付伸縮支柱に於いて、該固定柱と拡張柱との伸縮を螺合伸縮部と発条調整伸縮部との両者を併設せしめ、且つ固定柱及び拡張柱との接続部に回転台を嵌合せしめ、該回転台にはハンガー又は棚台等を保持する係止溝を形成せしめた事を特徴とする回転台付伸縮支柱。

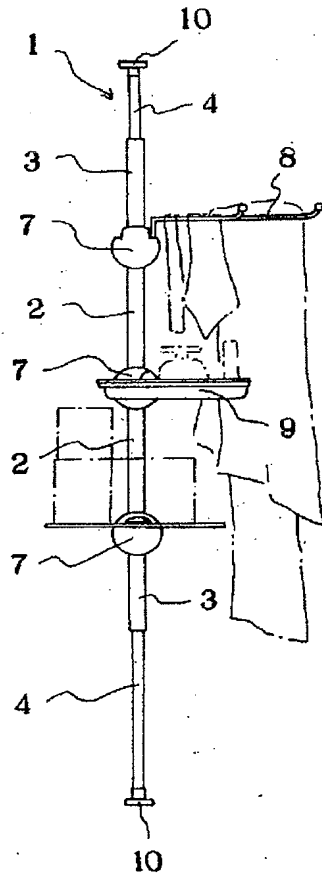
図面の簡単な説明

図面はこの考案の実施例を示すもので、第1図はこの考案の正面図、第2図は一部欠除した拡大正面図、第3図は一部分解斜面図、第4図は要部の断面図である。符号1は伸縮支柱本体、2は固定柱、3は拡張柱、4は支杆、5は螺合伸縮部、6は発条調整伸縮部、7は回転台、8はハンガー、9は棚台、11は係止溝である。

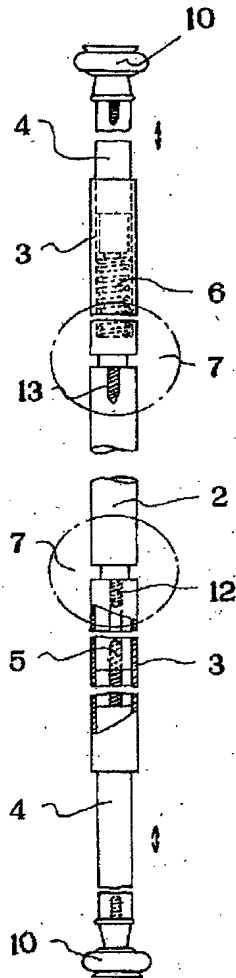
第4図



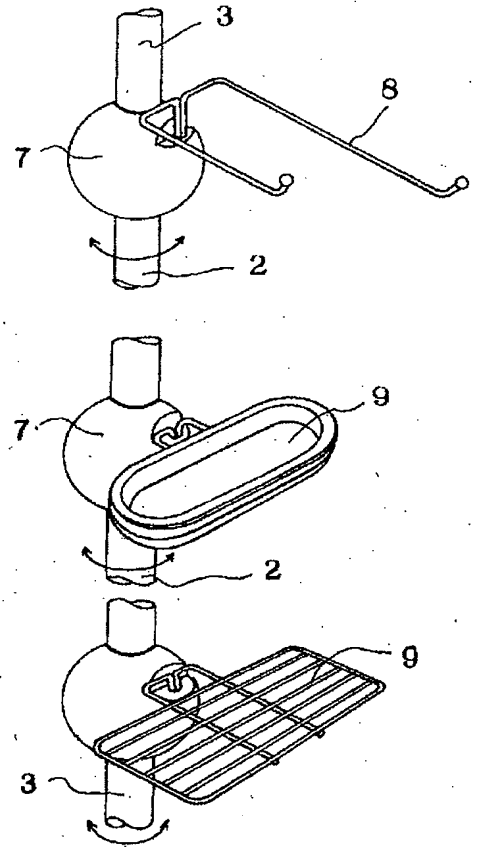
第1図



第2図



第3図





実用新案登録願 (1)

昭和 56 年 9 月 22 日

特許庁長官 島 田 春 樹 殿

1. 考案の名称
フリガナ
回転台付伸縮支柱

2. 考 案 者
フリガナ
住 所 埼玉県川口市幸町 1-5-22
フリガナ
氏 名 納 谷 昭 二

3. 実用新案登録出願人
フリガナ
住 所 埼玉県川口市幸町 1-5-22
フリガナ
氏 名 (名称) 株式会社 川 谷 技 研
代表者 納 谷 昭 二
(国 籍)

4. 代 理 人 〒112
住 所 東京都文京区小石川 2-5-5
氏 名 (7380) 井澤士 仙 田 実

5. 添付書類の目録

(1) 明細書 1通
(2) 図 面 1通
(3) 願書副本 1通
(4) 委任状 1通

56 141141

式 査
方 審

明 細 書

1. 考 案 の 名 称

回 転 台 付 伸 縮 支 柱

2. 実 用 新 案 登 録 請 求 の 範 囲

固定柱と伸縮自在の拡張柱と、上下の端部に取着盤を装着した支杆とからなる回転台付伸縮支柱に於いて、該固定柱と拡張柱との伸縮を蝶合伸縮部と発条調整伸縮部との両者を併設せしめ、且つ固定柱及び拡張柱との接続部に回転台を嵌合せしめ、該回転台にはハンガー又は棚台等を保持する係止溝を形成せしめた事を特徴とする回転台付伸縮支柱。

3. 考 案 の 詳 細 な 説 明

この考案は居間、台所、浴室及びトイレ等の各室の隅部又は壁側等の空間を利用してハンガー又は小物棚を着脱自在に回転せしめるようにした回転台付伸縮支柱に関するものである。

従来この種の伸縮支柱は、主管と揺動管との伸縮調整を発条又は蝶合のみによる高さ調整す

るものが一般的である。然し、この場合は、該支柱の上下が天井又は床面への圧接程度が強弱不適當であつて、適度の圧接状態を得るのが困難である。従つて、脱離する場合の面倒さと、天井及び床面に傷跡を付ける欠点がある。また、従来のものには、回転自在の回転台に各種ハンガー及び棚台を装着したものも散見されるが、このものは支柱の高さ調整した後に、支柱に固定するため、大変に面倒であると共に、安定が悪い等の欠点がある。

この考案は上述の各欠点を改良するためのもので、固定柱と拡張柱との伸縮を螺合伸縮部と、発条調整伸縮部との両者を併設し、且つ固定柱及び拡張柱との各接続部にハンガー又は棚台を掛吊する回転台を嵌合せしめたものである。従つて、螺子及び発条との伸縮調整なので、操作が容易で安全確実である効果と、ハンガー及び棚台との取付部分が回転式なので自由自在に回転でき使用に便利であると共に、回転台の取付が嵌合するだけなので強固で着脱が容易となる

優れた効果を生ずるものである。

以下、この考案の一実施例を図面について説明すると、伸縮支柱本体(1)は、固定柱(2)、拡張柱(3)及び支杆(4)とから構成されている。該固定柱(2)には、上下に螺子杆(11)と螺子孔(12)を各々形成して該拡張柱(3)を連結せしめてある。下方の拡張柱(3)の内部には、下端の支杆(4)が螺合により伸縮する螺合伸縮部(5)を装設してある。また、上方の拡張柱(3)の内部には、上端の支杆(4)を発条で上下伸縮せしめる発条調整伸縮部(6)を装設せしめてある。回転台(7)は、内部が貫通され固定柱(2)と拡張柱(3)との連結部で支持されると共に、一個以上のヘンガー(8)又は棚台(9)を保持する係止溝(13)(14)を形成せしめてある。符号(10)は支杆(4)(4)の突端に設けた取着盤を示すものである。

次にこの伸縮支柱の使用法を説明すると、必要の高さに固定柱(2)及び拡張柱(3)とを回転台(7)を介在して連結し、上端の取着盤(10)を天井に下端を床面等押し当て、螺合伸縮部(5)の回転により天井に強く圧接伸長せしめる。この時、発

条調整伸縮部(6)を圧縮せしめて常時弾力を持たせて上下に突張った状態で固定するものである。また、回転自在の回転台(7)にはハンガー(8)又は棚台(9)に係止して衣服等の掛吊及び品物等を載置するようにするものである。

以上の如くこの考案によると、伸縮支柱を上下の螺合伸縮部と発条調整伸縮部との両方で高さ調整する操作が簡便であると共に、圧着調整が微妙に作用し、容易に脱離する等の憂いがない優れた効果と、固定柱と拡張柱との連結によつて適宜寸法高さに容易に組立でき、分解も容易で収納等も小型化される効果がある。且つ、固定柱及び拡張柱との各接続部に回転台を嵌合せしめたので、各柱の接続部を保護及び補強すると共に、回転台も強固となり、且つ外觀が非常に体裁が良好となる効果がある。また、回転台に設けた係止溝によつて、ハンガー又は棚台を自由に選定して掛吊でき、大変に便利であり、且つ回転自在のため、ハンガー又は棚台の位置を自由に移動できるため空間利用に大変便利で

ある効果がある。

4. 図面の簡単な説明

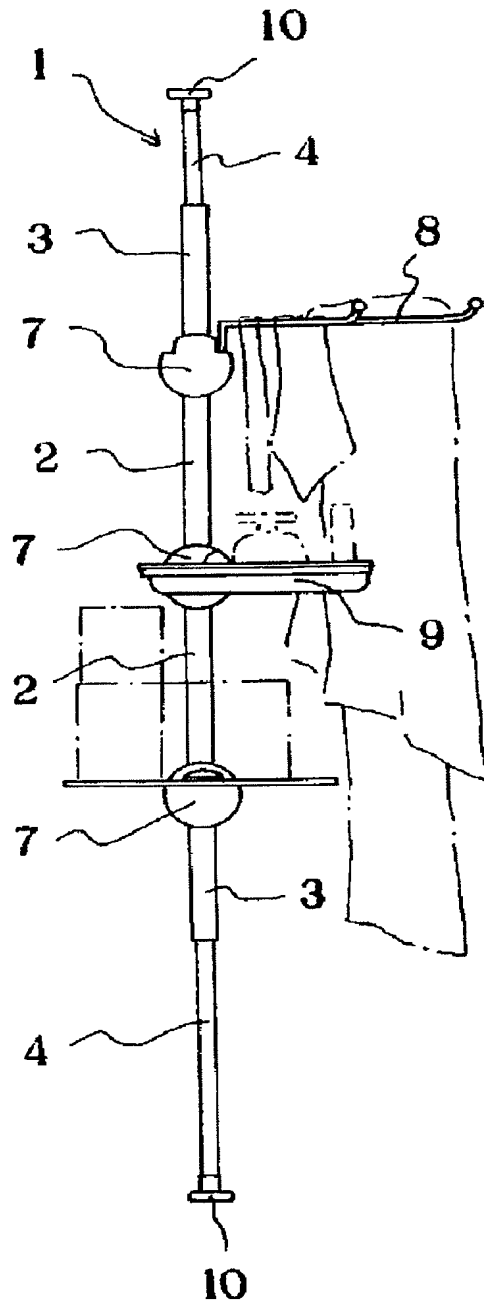
図面はこの考案の実施例を示すもので、第1図はこの考案の正面図、第2図は一部欠除した拡大正面図、第3図は一部分解斜面図、第4図は要部の断面図である。符号(1)は伸縮支柱本体、(2)は固定柱、(3)は拡張柱、(4)は支杆、(5)は蝶合伸縮部、(6)は発条調整伸縮部、(7)は回転台、(8)はハンガー、(9)は棚台、(11)は係止溝である。

代理人 弁理士 仙 田

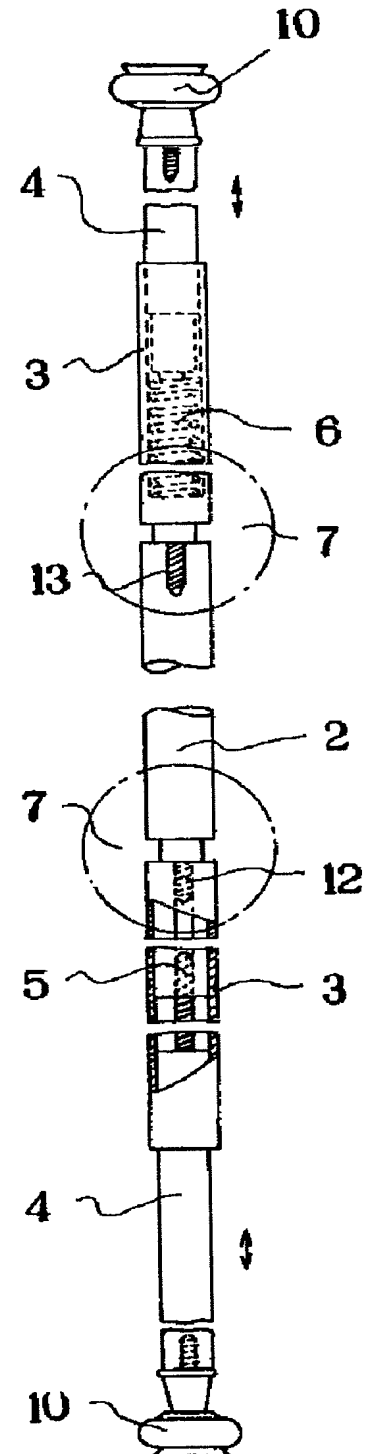
実



第 1 図

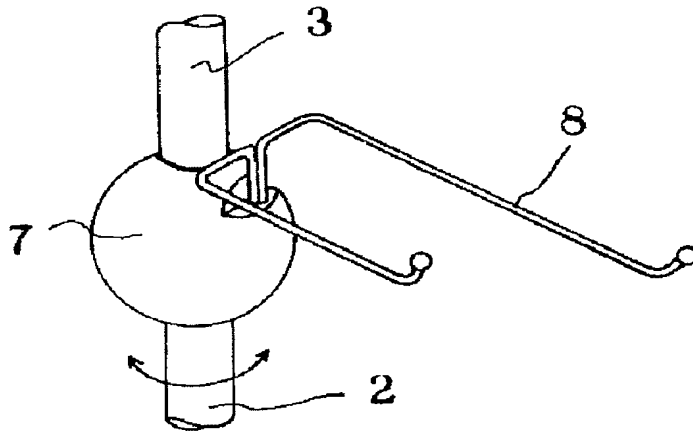


第 2 図

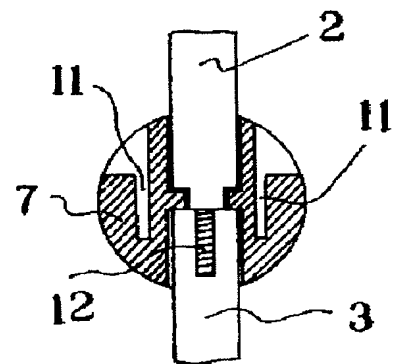
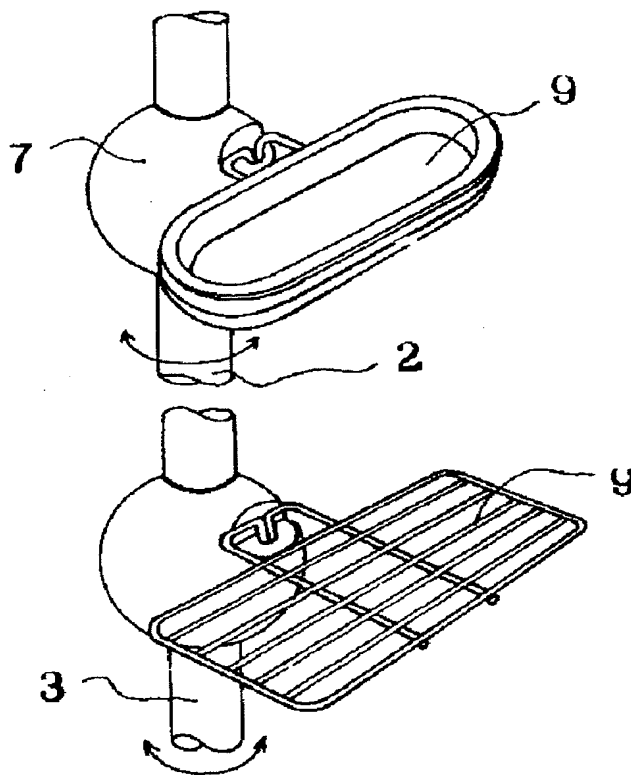


363

第 3 図



第 4 図



364

代理人 弁理士 仙 田 実

1/2